

情報元：奄美新聞社
日付：令和4年2月22日



沖洲会ガイダンスでゲスト出演した歌手の大山百合香さん（前列中央）＝沖永良部高校＝

高校で「沖洲会」ガイダンス

歌手の大山百合香さん特別出演 「離れていても島を大事に」

【沖永良部】「沖洲会」を知ってもらっためのガイダンスが21日、沖永良部高校であ

った。3年生60人が参加。サプライズで登場した沖永良部出身の歌手、大山百合香さん（37）は「帰る場所があるのは幸せなこと。離れていても島を大事にしてほしい」と呼び掛けた。

沖洲会は、沖永良部出身者でつくる郷友会で、東京や大阪など全国9支部に合計9400人の会員がいる。

和泊、知名両町では、進学などで島を離れる高校3年生を対象に、2013年からガイダンスを行っている。

最初に役場職員が沖洲会について説明。会員数の減少を課題に挙げたほか、組織を盛り上げようと若手メンバーで4年前に立ち上げた「若沖洲会」の活動

を報告した。サプライズゲストとして出演した大山さんは、自身が作詞した曲「花のしずく」も沖永良部民謡「えらぶゆりの花」など4曲を披露。エピソードトークで

は、沖永良部から島外へ進学した当時のことを振り返り「寂しい時もあったが、この島があるから頑張れた。島を離れ、改めて島への思いが年々強くなっている」と語った。

3年の西山千愛さん（18）は「卒業後は東京に行く。沖洲会を通じてみんなを支え合いながら頑張っていきたい」と話した。